

令和元年度 常葉大学 第3回FD・SD研修会（全学共通研修会）報告

日 時	令和元年9月25日（水）15：10～16：20		
場 所	静岡草薙キャンパス、静岡瀬名キャンパス、静岡水落キャンパス、浜松キャンパス		
講 師	「面接官の心得」	影山 千恵美	入学センター課長
	「本学の学習成果のアセスメントについて」	中澤 寛元	副教務部長
参加者数	224人（短期大学の教職員含む）		

令和元年度の第3回FD・SD研修会が、9月25日に全学を対象に開催された。今回講師を務めていただいたのは、影山千恵美・入学センター課長と中澤寛元・副教務部長の2名。

初めに影山課長が「面接官の心得」をテーマに講演に立ち、面接官のあるべき姿・態度について「どの受験者に対しても公平な態度で臨むこと。受験者の価値観、経験、人格を否定しないこと。家庭の事情やプライベートなど、可否に関係のないことは質問しないこと」を指摘。

受験者が入試当日に自分自身を最大限表現できるように大学側が環境を整えることの重要性を強調した。

続いて、中澤寛元副教務部長が「本学の学習成果のアセスメントについて」をテーマに講演し「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」を踏まえ、高等教育の在り方が学習者本位の教育へと転換が図られてきており、「教員が何を教えたか」ではなく「学生が何を学び、何を身に付けることができたのか」が重要であることを指摘した。

続いて、本学の静岡理学療法学科および健康鍼灸学科に共通したルーブリック評価を試みた結果を報告。両学科のDPを基に提案された「仮称・常葉コモンルーブリック」は、内容の充実や評価項目の点検などについて課題は残されているものの、本学としてのアセスメントテストの一定の方向性を示す意欲的な取り組みとして注目された。